



はじめに

本市は、由布・鶴見火山群の山体とその裾野を取り巻く火山性高原を背後地として、緩やかに傾斜した扇状地が広々とした別府湾の湾奥部に流れ込んでおり、昼夜問わず湧き出る温泉は世界でも有数のものとして広く知られています。このような優れた自然環境を活かして、本市を訪れた多くの人に喜んでもらえるような心遣いも大切にしています。このおもてなしの心を「住んでよし、訪れてよし」の ONSEN ツーリズムの精神につなげて、泉都別府のまちづくりに全市を挙げて取り組んでいます。

一方、日本全体に目を移せば、近年の市場経済の停滞や雇用の不安定が大きな社会問題となっている中、前時代の大量生産・大量消費・大量廃棄と言った経済活動から脱却できず、未だ日本全体で環境に対する負荷が増大しています。その結果、日本だけでなく、地球上では異常気象、鉱物資源の枯渇、水資源の減少、生物種の絶滅速度の増大など、様々な地球環境問題が発生しています。

このような地球環境問題や本市の環境に柔軟に対応していくためには、このたび策定しました第2次環境基本計画が重要な意味を持ってきます。更なる環境の保全を目指すとともに、10年後の本市の環境を見据えて成果目標値を新たに設定し「環境目標達成プラン」として本計画を支えるしくみも作ったところでもあります。自然と共生できる、環境への負荷の少ない循環型社会の実現を目指して、この環境基本計画を基に「住んでよし、訪れてよし」の環境みらい都市・別府のまちづくりを進めていきたいと思えます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました別府市環境保全審議会委員の皆様をはじめ、アンケート等を通じて貴重なご意見、ご提言をいただきました多くの市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成23年3月

別府市長 浜田 博